

私の好きな言葉は、「努力に勝る天才なし」です。解説の中には、努力とか忍耐とか、今の時代にはなじまないかもしれない言葉が並んでいましたが、私は、いつの時代もどんな分野でも、努力に勝る天才はいないと信じています。

昨年引退したイチロー選手は、「自分は天才だとは思わないが、天才の定義が一番努力する人ということであれば天才かも知れない。」と語っていますし、世界のホームラン王・王貞治氏は、「努力をすれば、必ず結果が出る。努力をしても結果が出ないのなら、それは本当の努力をしていないということである。」と語っています。

したがって、「地道に努力を積み重ね、真面目に一生懸命仕事に打ち込む」ことができるかは、究極的には「自分との闘い」「自分の心との闘い」でしかないのです。

すなわち、楽な方に逃げそうになる自分、すぐに他人のせい、周りのせいにしてしまう自分等々、弱い自分に勝つことができるかが重要なのです。